



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：590千円

イタリア仮面劇の上演とワークショップ

目的・趣旨

本事業はポローニャの劇団から浜松市に打診があり、それを受けて本学で公演を行うものである。従って、ポローニャ市と浜松市の連携事業として大きな意義を持つ。また、イタリアで実績のある仮面劇の劇団による公演を行うことで、日本のイタリア文化研究における本学の存在意義を示すことができる。

日時・場所

平成28年12月2日 午後6時30分から 【仮面劇上演】
平成28年12月3日 午後2時から午後6時 【演技ワークショップ】

体制

(実施代表者) 文化政策学部 芸術文化学科 教授 高田和文
(実施分担者) 文化政策学部 国際文化学科 教授 武田好

共催・後援等

(後援) 静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、浜松市、浜松市教育委員会

内容

昨年度の公演に引き続き、ポローニャの劇団によるイタリアの伝統的な仮面劇コンメディア・デッラルテ「ドン・ジョヴァンニーよみがえる石像の宴」の公演を本学講堂で行ない、本学学生と地域の市民に無料で公開した。併せて、浜松のNPO法人と協力して本学体育館において本学の演劇サークルおよび地域の劇団の俳優、高校の演劇部員に向けたワークショップを行った。



仮面即興劇のチラシ



パンフレット

結果・成果

イタリアで実績のある仮面劇の劇団による公演を行うことで、日本のイタリア文化研究における本学の存在意義を示すことができた。なお、同劇団は今回の日本公演において、本学の他に熊本、神戸、大阪、東京でも同様の公演を行い、好評を博した。

演劇公演およびワークショップについては、「地域連携実践演習」の授業の一環として学生スタッフが事前広報、当日の舞台設営補助、受け付け業務等を行い、音響・照明研究サークル「p@thcode」が音響・照明を担当した。また、ポローニャを含めてイタリアに留学した経験をもつ学生がリハーサルやワークショップの通訳を務め、イタリア留学の学習成果を示した。



舞台の様子1



舞台の様子2



会場の様子



ワークショップの様子